

「ディスカバー農山漁村の宝」(第6回選定)

第1回有識者懇談会概要

1. 日 時：令和元年5月21日(火) 17:10~17:40
2. 場 所：総理大臣官邸3階南会議室
3. 出席者：菅内閣官房長官、吉川農林水産大臣、片山内閣府特命担当大臣(地方創生担当)、杉田内閣官房副長官、西川内閣官房参与、青木内閣官房内閣審議官、室本農林水産省農村振興局長
林座長、今村委員、織作委員、田中委員、永島委員、藤井委員、三國委員、横石委員

4. 概 要：

(林座長)

- ・「ディスカバー農山漁村の宝」で初めての試みとなるサミットの内容や、第6回となる令和元年度以降の選定方針についても、本日意見交換を行ってまいりたい。

【開会挨拶】

(菅内閣官房長官)

- ・平成26年度から始まった「ディスカバー農山漁村の宝」は、これまでに、農山漁村の活性化と所得向上に取り組む優良事例を全都道府県で143地区選定してきた。
- ・これらの地区では、例えば、選定を機に、「地元農産物を活用した新商品の開発等」に取り組み、売上が増加した地区」や、「地域の取組が海外のテレビ番組で紹介された地区」など、具体的な効果も見られる。
- ・このように、選定後も意欲的に取り組む地区の後押しをするため、来月には、初の試みとして、これら143地区が集まる「ディスカバー農山漁村の宝サミット」を開催する。
- ・引き続き「農山漁村の宝」を見つけ出し、効果的な横展開を図っていく。
- ・本日は、これらについて、委員の皆様からの活発な意見を期待する。

【事務局説明及び意見交換】

(室本農村振興局長から、資料に基づき、「ディスカバー農山漁村の宝サミット」の開催概要及び第6回選定以降の選定方針(案)について説明。その後、委員等からいただいた主な意見は以下のとおり。)

(有識者懇談会委員)

- ・サミットの開催は次のステップとして非常に良いことだが、これをどのように一般の方に伝えていくのかを考え、より開かれた方向に持って行く必要がある。
- ・シンポジウム、マルシェが一過性では良くないので、今回第1回～第5回選定地区が集まるサミットの開催は良いこと。
- ・アンバサダーは語り手となる存在。若者や女性の活躍に期待したい。
- ・選定によって、単独で活動していた団体の周りに支援者が集まり点から線になったと感じられる。このサミットで互いのノウハウを共有するなど、今後の活動に活かしていただけたら良い。
- ・第6回以降の選定方針はコミュニティ・ビジネス・個人賞と役割毎の輪郭がハッキリとしていて、発信がしやすく良い。
- ・農業を支えているのはフリーランスの個人事業者。個人に光が当たることは良いことで、若者たちが目指す存在となるので、今後もっと個人に注目をしていくようにすると良い。
- ・第6回以降の選定方針については、これまでの多様な分野が入り交じていたものから非常に分かり易くて良い。
- ・PRに関してはSNSを活用し、若者など色々な人と繋がりを持ち、その繋がりをうまく使って、もっとオープンにPRをして知名度向上を図るべき。
- ・大賞以外の142地区のフォローをしっかりとやってほしい。
- ・「ディスカバー農山漁村の宝」が盛り上がってきたこの時期にサミットを開催することは非常に良いこと。
- ・地域では外から入ってきた人たちだけで活動することで、地域住民との隔たりが出ているという課題があるので、「ディスカバー農山漁村の宝」のブランド力を向上させて価値を高めることで、地域が一体となり取り組むようになれば良い。
- ・一般の方の認知度がまだまだ低い。SNSを活用して若者を取り込んで、認知度を向上させていくべき。

(片山内閣府特命担当大臣)

- ・143地区全てを集めたサイトショップをネット上に作成してはどうか。少量しか生産出来なくても、その価値をわかって消費者は付いてくるので、地方創生でも全面的にお手伝いさせていただいて、プラットフォームを作成し、横展開していきたい。
- ・物流のデリバリーをどう組み合わせるかが難題だが、地方創生からもこれをブランド化する価値があると考えているので、宜しく願いしたい。

(有識者懇談会委員)

- ・サミットをストーリーミング配信やネット配信すると、視聴者数がわかるので良いのではな

いか。

- ・見られることによって価値が上がるし、磨かれると思うのでネット配信は良いこと。

(農村振興局長)

- ・現状ネット配信は検討していないが。いただいた御意見を踏まえ検討する。

(林座長)

- ・意見交換を終了する。
- ・「ディスカバー農山漁村の宝サミットの開催」について了承することでよろしいか。

(異議なしの声)

(林座長)

- ・第6回選定以降の選定方針については、本日の委員の意見を踏まえ更に検討を深めていただきたい。それでは、閉会に際して片山内閣府特命担当大臣と吉川農林水産大臣から一言賜りたい。

(片山内閣府特命担当大臣)

- ・先ほどの発言に尽きますが、地方創生として全面協力、全面タイアップさせていただくので、宜しく願いしたい。

(吉川農林水産大臣発言)

- ・委員の皆様には、本日も多様な観点から貴重な御意見をいただき感謝。
- ・毎年、総理大臣官邸で行われる「ディスカバー農山漁村の宝」の表彰は大変盛り上がりしており、昨年度の第5回選定までに143地区の優良事例を選定するまでに拡大したことについて大変感慨深く感じている。
- ・本年は、これまでの節目として「サミット」を開催するなど、「ディスカバー農山漁村の宝」にとって重要な年を迎えることになるので、農林水産省としても、輸出、農泊、ジビエ、そして、農福連携など、全国各地の農林水産業の成長のきっかけを与える存在として、「ディスカバー農山漁村の宝」の情報発信に積極的に取り組んで行く。

【閉会】

(以上)